

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 FDK株式会社  
 コード番号 6955 URL <http://www.fdk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月2日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 望月 道正  
 (氏名) 芥川 淳

上場取引所 東  
 TEL 03-3434-1271

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	35,109	△16.1	△1,626	—	△1,723	—	△1,566	—
24年3月期第2四半期	41,836	△16.0	251	△91.5	△76	—	△134	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,498百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △795百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△7.21	—
24年3月期第2四半期	△0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,334	—	4,495	—	4,495	4.6
24年3月期	58,427	—	6,993	—	6,993	8.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,582百万円 24年3月期 4,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	75,000	△6.6	300	119.3	550	420.4	1,000	178.2	4.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	217,505,884 株	24年3月期	217,505,884 株
25年3月期2Q	231,499 株	24年3月期	229,956 株
25年3月期2Q	217,275,549 株	24年3月期2Q	217,278,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

第一回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭	円 銭 0.00	円 銭	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				0.00	0.00

第二回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭	円 銭 0.00	円 銭	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				0.00	0.00

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において特に当社グループの業績に影響を与える環境要因としては、海外製低価格品の流通、長引く円高、欧州の債務危機などによる世界経済の減速などが大きなものでした。

このような状況のなか、当社グループは、富士通アルカリ乾電池「PremiumG」の拡販、ニッケル水素電池を搭載した蓄電デバイスの開発、山陽工場における高性能フェライトの量産開始に向けた体制整備に注力するとともに、製品のコストダウン、生産性の向上等、徹底的なムダの排除による固定費の削減に努めてまいりました。

しかしながら当期の経営成績につきましては、予想を上回る大幅な受注数量の減少などにより、売上高は、前年同期に比べ67億27百万円減少の351億9百万円となりました。

損益面につきましては、市場の落ち込みによる大幅な受注減などにより、営業損失は16億26百万円（前年同期は、2億51百万円の営業利益）、経常損失は17億23百万円（前年同期は、76百万円の経常損失）、四半期純損失は15億66百万円（前年同期は、1億34百万円の四半期純損失）となりました。

事業別の売上概況は以下のとおりです。

#### 電池事業

アルカリ乾電池は、東日本大震災発生後、国内市場に輸入品の流通が始まった影響などにより、市場に占める海外製品の割合が増加したことから、前年同期を大きく下回りました。ニッケル水素電池は、工業用途向けが前年同期並みを確保したものの、欧州市況の低迷により市販用途向けが振るわず、前年同期を大きく下回りました。リチウム電池は、北米市場において防災機器、セキュリティー用途向けが好調だったものの、欧州市場向けが振るわず、前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ50億57百万円減少の218億45百万円となりました。

#### 電子事業

自動車の生産回復、一眼レフカメラ市場の活況に支えられてコイル製品ならびに圧電部品の売上が高い水準を維持している一方で、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、世界規模での液晶ディスプレイの生産調整が継続しTV用ならびにモニター用が減少し、スイッチング電源でもストレージ向けが減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ16億70百万円減少の132億63百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ20億93百万円(3.6%)減の563億34百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ21億64百万円(6.1%)減の331億10百万円、固定資産は前連結会計年度に比べ71百万円(0.3%)増の232億23百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が12億92百万円、仕掛品が5億86百万円、現金及び預金が5億62百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産が2億33百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ4億4百万円(0.8%)増の518億38百万円となりました。流動負債は前連結会計年度に比べ3億60百万円(0.9%)増の420億71百万円、固定負債は前連結会計年度に比べ43百万円(0.5%)増の97億67百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金が増加したことによるものです。固定負債増加の主な要因は、負ののれんが3億79百万円減少しましたが、リース債務が増加したことによるものです。

なお、有利子負債残高は、前連結会計年度に比べ16億22百万円増の236億円となりました。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ24億98百万円(35.7%)減の44億95百万円となりました。純資産減少の主な要因は、利益剰余金が15億66百万円、為替換算調整勘定が5億49百万円それぞれ減少したことによるものです。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは減価償却費の計上や売上債権の減少、未払費用の増加などによる現金及び現金同等物(以下「資金」という)の増加はありましたが、税金等調整前四半期純損失の計上や仕入債務の減少などによる資金の減少により4億61百万円の資金減少(前第2四半期連結累計期間は31億62百万円の資金増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより3億51百万円の資金減少(前第2四半期連結累計期間は15億32百万円の資金減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより7億56百万円の資金増加(前第2四半期連結累計期間は11億61百万円の資金減少)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は期首残高より2億68百万円減少し、56億7百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、本日発表の「平成25年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、開示府令第19条第10項に規定する特定子会社の異動はございません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,178	5,616
受取手形及び売掛金	19,753	18,461
商品及び製品	2,640	2,904
仕掛品	3,556	2,969
原材料及び貯蔵品	1,583	1,553
繰延税金資産	107	188
その他	1,512	1,464
貸倒引当金	57	48
流動資産合計	35,274	33,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,537	7,913
機械装置及び運搬具(純額)	7,517	6,884
工具、器具及び備品(純額)	778	807
土地	3,409	3,382
リース資産(純額)	462	1,301
建設仮勘定	901	548
有形固定資産合計	20,605	20,839
無形固定資産		
投資その他の資産	819	780
投資有価証券	144	144
長期貸付金	3	1
繰延税金資産	194	205
その他	1,386	1,253
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	1,728	1,604
固定資産合計	23,152	23,223
資産合計	58,427	56,334

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,911	14,370
短期借入金	21,277	22,042
リース債務	297	392
未払金	1,864	1,880
未払法人税等	152	120
災害損失引当金	156	137
その他	2,050	3,127
流動負債合計	41,710	42,071
固定負債		
リース債務	402	1,165
繰延税金負債	3	1
退職給付引当金	6,824	6,566
負ののれん	2,087	1,707
その他	405	326
固定負債合計	9,723	9,767
負債合計	51,433	51,838
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,301	28,301
資本剰余金	22,622	22,622
利益剰余金	44,220	45,787
自己株式	41	41
株主資本合計	6,661	5,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	8
為替換算調整勘定	1,971	2,520
その他の包括利益累計額合計	1,961	2,512
少数株主持分	2,294	1,913
純資産合計	6,993	4,495
負債純資産合計	58,427	56,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 第2四半期連結累計期間  
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	41,836	35,109
売上原価	36,273	31,384
売上総利益	5,563	3,725
販売費及び一般管理費	5,311	5,352
営業利益又は営業損失( )	251	1,626
営業外収益		
受取利息	9	7
負ののれん償却額	379	379
受取賃貸料	8	10
その他	111	55
営業外収益合計	509	453
営業外費用		
支払利息	85	83
為替差損	585	314
固定資産除却損	29	51
その他	137	101
営業外費用合計	837	550
経常損失( )	76	1,723
特別利益		
土地売却益	85	-
特別利益合計	85	-
特別損失		
和解金	-	239
特別損失合計	-	239
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	8	1,963
法人税、住民税及び事業税	143	79
法人税等調整額	2	99
法人税等合計	141	19
少数株主損益調整前四半期純損失( )	132	1,943
少数株主利益又は少数株主損失( )	2	376
四半期純損失( )	134	1,566

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	132	1,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	1
為替換算調整勘定	610	495
持分法適用会社に対する持分相当額	56	58
その他の包括利益合計	662	554
四半期包括利益	795	2,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	791	2,117
少数株主に係る四半期包括利益	3	380

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	8	1,963
減価償却費	1,792	1,460
退職給付引当金の増減額( は減少)	133	258
貸倒引当金の増減額( は減少)	4	5
受取利息及び受取配当金	38	8
支払利息	85	83
為替差損益( は益)	11	4
持分法による投資損益( は益)	55	33
有形固定資産売却損益( は益)	83	1
固定資産除却損	29	51
負ののれん償却額	379	379
和解金	-	239
売上債権の増減額( は増加)	1,324	636
たな卸資産の増減額( は増加)	1,404	164
仕入債務の増減額( は減少)	2,128	874
未払費用の増減額( は減少)	159	591
その他	257	40
小計	3,490	267
利息及び配当金の受取額	38	8
利息の支払額	127	82
法人税等の支払額	238	120
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,162</b>	<b>461</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	6	6
定期預金の払戻による収入	3	300
有形固定資産の取得による支出	1,654	1,279
有形固定資産の売却による収入	150	672
無形固定資産の取得による支出	25	46
投資有価証券の取得による支出	1	1
その他	1	9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,532</b>	<b>351</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	1,023	874
自己株式の取得による支出	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	138	117
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,161</b>	<b>756</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	325	211
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	143	268
現金及び現金同等物の期首残高	4,156	5,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,299	5,607

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	26,902	14,933	41,836		41,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	26,902	14,933	41,836		41,836
セグメント利益	156	94	251		251

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	21,845	13,263	35,109		35,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	21,845	13,263	35,109		35,109
セグメント利益又は損失 ( )	1,857	231	1,626		1,626

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。